

教員名	向井悠一朗	所属学科	経営
<p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b></p> <p>ゼミの内容は、企業経営、経済活動を「ものづくり」(≠製造業)の観点から学びます。また、ゼミ活動を通じて、あらゆる仕事に必要な想像力を身につけます。今どき「ものづくり?」と思われるかもしれませんが、スマホ、SNS、IoT、AI・・・これらを支えているのも、実は「ものづくり」です。今だからこそ、「ものづくり」の見方を学ぶ意味があると考えています。</p>			
<p><b>【どのように学ぶのか】</b></p> <p><b>&lt;座学&gt;</b></p> <p>普段のゼミでは、経営学やものづくり論のテキストをもとにゼミ生同士がプレゼンしあうことを通じて、基本的な見方、考え方を学びます。</p> <p>並行して、数人のグループで事例研究を行い、調査、発表、議論します。これまで、「コストコが日本で成功した理由」「小型車生産における生産子会社の競争力」「あるカラオケチェーンはなぜ衰退しているのか」「売れないスムージーの販売数を伸ばすには」「AMAZONの成長戦略」「非健康食品の製品戦略」といったテーマがありました。いずれもその企業/事業/産業/現場は、なぜ生き残ることができているのか・・・競争力の源泉を議論しています。</p> <p>最終年度は卒業論文に取り組みます。社会に出る前に、自ら問題意識を持ち、それを考えることがいかに有意義かを、他人に伝える経験が必要だと考えるからです。</p> <p><b>&lt;座学以外(合宿・工場見学など)&gt;</b></p> <p>ゼミ生と相談して決めますが、事例研究とも関連付けて、工場見学などものづくりの現場を見聞きする機会を設けます。これまで、県内に加え、九州、カンボジア、香港・華南に行きました。今後も国内、海外の訪問を予定しています。</p> <p>とくに座学以外のこうした活動は、就職活動、就職後の一助になると考えています。</p>			
<p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b></p> <p>能動的に取り組めば、文献や情報を理解して整理する力、問題を発見する力、周囲の人と協力し議論する力などが身に付く可能性があります。また、あるゼミ生によると、「ものづくりの仕組みは日常生活でも活かされるため、視野が広がり、様々な角度から物事を見られるようになります」とのことです。こうした力は、製造業に限らず、あらゆるサービス業、金融業、公務員など、ものづくりの現場を相手とするあらゆる仕事に必要な想像力の土台になります。現に卒業生は、こうした仕事に就いています。</p>			
<p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b></p> <p>前間孝則、碓義朗・・・</p>			
<p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b></p> <p>学生生活はとても自由ですが、せっかくの学生生活をより有意義なものにするために、ゼミも充実させたほうが得だと思います。そのためには、能動的に行動すること、何でも吸収しようという意欲(≠学力)を持つことが大事・・・と、偉そうですが、大学を卒業し、教員になり、いろんな学生を見て、そう思うようになりました。</p>			